



# 「初志貫徹」

～志高く地域の絆で未来を拓く～

## Junior Chamber International Saidaiji(Japan)

### No.1

#### Slogana

理事長 赤木 朋央

・はじめに

### Slogana

2013年度 一般社団法人西大寺青年会議所 スローガン  
『初志貫徹』～志高く地域の絆で未来を築く～

社団法人 西大寺青年会議所  
第53代理事長 赤木 朋央

### No.2

#### Slogana

理事長 赤木 朋央

- ・【地域に根ざし、絆を深める「まちづくり」】
- ・【次世代の担い手となる「青少年の健全育成」】
- ・【リーダーとして「魅力あるひとづくり」】
- ・【会員増強による「力強い組織の形成」】

#### ＜基本方針＞

- 一、地域に根ざし、絆を深める「まちづくり」
- 一、次世代の担い手となる「青少年の健全育成」
- 一、リーダーとして「魅力あるひとづくり」
- 一、会員増強による「力強い組織の形成」



### No.3

#### Slogana

理事長 赤木 朋央

・結びに

#### New Year's resolution

副理事長 塩崎 鉄司  
副理事長 中山 稔之

### はじめに

私たち西大寺青年会議所は1960年に日本で196番目の会員会議所として創立され、本年度53年目を迎えることが出来ました。この53年という歴史の中には、諸先輩方が築き上げてこられた素晴らしい功績が今のJC運動に繋がっているものと考えます。

諸先輩方は日々、地域の問題に対して議論し合い解決に導くため、多くの諸団体の皆様と共に事業を行ってこられました。私たちは長きに渡り、積み上げられてきた運動を受け継ぎ、更なる進化を遂げるよう青年会議所運動に邁進して参ります。

私たち青年会議所は「明るい豊かな社会の実現」に向け運動をする団体であり、その基本理念は不変であります。明るい豊かな社会を実現する為『志高く地域の絆で未来を拓く』ことを目標に様々な運動に取り組んで参ります。

### No.4

#### New Year's resolution

副理事長 長田 智宏  
専務理事 藤本 成浩  
総務委員会 委員長 寺田 和宏

また、2011年3月11日に発生した東日本大震災。マグニチュード9.0の巨大地震により発生した大津波によって、多くの方々が被災されました。震災により尊い命を失われた皆様には心よりご冥福をお祈り申し上げますと共に一日も早い復興をお祈りいたします。

震災直後、私たちに何が出来るか考え、支援物資の提供や街頭に立ち募金活動、特別会員の方々からも義捐金を募り被災地の方々へ支援させて頂きました。ご協力頂きました皆様方に於かれましては厚く御礼申し上げますと共に更なる支援にご協力お願いいたします。

震災直後は連日放送されていたマスメディアによる報道も一年以上経つと全くの様に報道されなくなってきました。我が町西大寺も近い将来、来るであろう、東海、東南海、南海地震の三連動によって震度5強、約3mの津波が発生すると言われております。(内閣府中央防災会議より) 私たちは東日本大震災の記憶を薄れさせたくない様、継続的な支援をすると共に我が町の防災、減災について考えて参ります。

### No.5

#### New Year's resolution

地域ふるさと委員会 委員長 同前 壮一  
地域の和委員会 委員長 岡崎 将明  
会員創造委員会 委員長 藤原 辰徳

### No.6

#### Regular meeting

総務委員会 副委員長 中西 秀和

### No.7

#### New Year's party

西大寺の和委員会 委員長 岡崎 将明

#### Matriculant

地域の輪委員会 委員 柴田 潤哉  
会員創造委員会 委員 井上 雅博

## 【地域に根ざし、絆を深める「まちづくり」】

JC運動におけるまちづくり運動とは、道やビル、公園などといった空間の創造ではなく、社会・経済・文化・環境といった生活の基盤を含めた暮らしそのものの創造と考えます。まちづくりに関わる様々な人々がそれぞれの分野における高度な知識と様々な情報を共有しながら生活を取り巻くあらゆる要素を総合的に検討し、多角的、継続的な運動を通じて、豊かな暮らしを創造していくことこそがまちづくりであると考える。

これらを創造するためには、地域の文化や特色を活かしながら、まちづくりに関わる人々との交流を深め、諸団体の皆様との幅広い連携を図る事が重要であると考えます。

そのために、私たちは明るい未来を築くためのまちづくり事業を通じて地域との関わりを深める事を積極的に行い、地域に根ざし、絆を深める「まちづくり」運動を推進して参ります。

## 【次世代の担い手となる「青少年の健全育成」】

次世代を担う子ども達に必要なことは、感謝の心やコミュニケーション能力であると考えます。現代の子ども達を取り巻く環境を考えると、インターネットや携帯電話・テレビゲームの普及、核家族化が進むことで人とのコミュニケーションも薄れがちになっているものと考えます。

次世代を担う子ども達は、地域の宝であるという認識を強く持ち、子ども達自らが経験し、その中で様々な壁にぶつかりながらも自らが判断し、行動するといった自立心を育てていくことが必要であると考えます。

私たちは、地域社会の健全かつ持続的な発展の為、地域の宝に郷土愛の育成、心身の健全な発育を目指した体験型事業を開催し、次世代の担い手となる「青少年の健全育成」運動を展開して参ります。

## 【リーダーとして「魅力あるひとづくり」】

JC運動におけるひとづくりとは、地域社会で生活していくために規則や礼儀を守りながら人を思いやり、敬う心を育てていく力を養い、人に対する感謝の気持ちを持つことです。この基本が成っていなければ前記に述べた「まちづくり」「青少年の健全育成」は出来ないものと考えます。我々青年会議所は、自分自身を向上させる運動を実践しています。向上させる学びは様々であり、それが青年会議所運動の魅力の一つでもあります。更なる青年会議所運動のため、リーダーとして魅力ある「ひとづくり」運動を実践して参ります。

我々は事業を行う上で幾多もの困難を乗り越え、目標達成に邁進していくこととなります。目標を達成することは容易なことではありません。そんな苦しい時や辛い時でも、諦めず最後まで貫き通すことで、真のリーダーとして「魅力あるひと」になると考えます。

## 【会員増強による「力強い組織の形成」】

JC運動には、40歳定年制がある為、毎年会員を増やさなければ会員は減少する一方にあります。近い将来で言うと、3年後の2016年には現在の理事の8割、現メンバーの半分以上が卒業する事になります。事業の基盤は会員で成り立っています。まちづくりを創造する団体としては力強い組織を形成して行かなくてはなりません。



このことを、メンバー一人ひとり再認識すると共に、メンバー全員一致団結して、会員増強による「力強い組織の形成」に取り組んで参ります。

## 結びに

青年会議所の綱領に『志を同じうする者 相集い力を合わせ 青年としての英知と勇気と情熱をもって明るい豊かな社会を築き上げよう』とあります。今こそ地域の抱える諸問題に対し、真摯に向き合い不変のテーマである、明るい豊かな社会を実現するため、メンバー一丸となり邁進して参ります。関係各位におかれましては今後ともご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

## New Year's resolution

## 一年間の抱負

### 副理事長 塩崎 鉄司



本年度、地球ふるさと委員会担当副理事長を務めさせていただきます。JCに入会させて頂き、9年目になりますが、今まで様々な委員会に配属され色々な事業を経験させて頂きました。

しかしながら、自分の中でもっともやりがいがあると思う事業は、「少年はだか祭り」であると思っております。もちろん子ども達に西大寺の伝統行事を体験してもらうことが目的ですが、地域の諸団体の方々と連携しながら運営や企画を進めて行くことを経験するのは、多くの方が初めての事で、さらにはJCメンバーの中でも誰にでもすることが出来ない貴重な体験であると思えます。本年度は入会2年目で新役員の同前壮一君が当委員会の委員長に任命されていますが、是非とも「少年はだか祭り」を初め、地球ふるさと委員会の事業を経験することで自身の成長の糧にして頂けたらと思います。最後に今年1年間、私自身、頼りない面も多々あると思えますが、頑張っ参りますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。塩崎鉄司

### 副理事長 中山 稔之



謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。2013年度赤木理事長の元、副理事長という大役を仰せつかり地域の和委員会を担当致します。中山稔之と申します。赤木理事長の掲げたスローガン「初志貫徹」の精神で頑張っていく所存でございますので一年間どうぞよろしくお願い申し上げます。長引く不況により景気の後退が叫ばれる昨今、私達は地域の為に今何が必要で何をすべきなのかを真剣に考え、率先して行動すると共に、故郷の魅力ある資源を最大限に見出し発信する事で、新たな一歩をみんなで踏み出したいとします。

## 副理事長 長田 智宏



本年度、赤木理事長のもと藤原委員長率いる会員創造委員会の担当副理事長を務めさせていただきます。近年、会員の増加が伸び悩むなか、なんとか現状維持が保れている状態です。会員を増やすことは基より、まずは現在の会員の強化が必要となります。

会員の強化とは、会員としての基質向上、仲間意識の強化を図り、魅力ある会員になることとし、魅力ある会員になることで会員拡大に繋がれると考えます。

本年度、会員創造委員会では、【会員の「増」「強」】を委員会方針とし、理事長の基本方針【会員増強による「力強い組織の形成」】を展開して参ります。

委員会の熱い想いをしっかりと執行部に繋げることを自分自身の成長に繋げ、また、委員長をはじめ委員会メンバー一同修練できるよう委員会をサポートして参りますので、一年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 専務理事 藤本 成浩



本年度、赤木理事長のもと専務理事を務めさせていただきます藤本成浩です。

専務理事として理事長の顔に泥を塗るようなまねはしない、また、メンバーにもそのようなことはさせないという思いを持って、一年間赤木理事長をサポートしていくと共に、岡山ブロック協議会、各地青年会議所との窓口として迅速な対応を心がけしっかりとJC運動に取り組んでいきたいと思っております。

また、総務委員会を担当するという事で、昨年総務委員長として培った知識や経験を寺田委員長に伝え、LOMの運営が円滑に行なえるよう力になりたいと思っております。

私自身、委員長に指導する立場に就くのは初めてのことで、上に立つことで見えてくること、気づかされることも多々あると思っております。寺田委員長と共に私自身も成長させてくれる一年になると考えます。

一年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 総務委員会 委員長 寺田 和宏



新年あけましておめでとうございます。本年度総務委員会委員長を務めさせていただきます寺田和宏と申します。一年間総務委員長として、LOMの運営がきちんと行われる様、LOMの裏方として、確実に業務を行なってまいりたいと思っております。また、昨年は、前年度総務委員長が一般社団法人への移行を完了されましたので、前年度総務委員長の業務を的確に引き継ぎ、一般社団法人として適正な運営を行いたいと思っております。

総務委員会としては対外的な大きな事業はありませんが、各員会で行われる事業を全面的にバックアップし、赤木理事長のもと、西大寺青年会議所が一つとなり、良い事業を行ってまいりたいと思っております。

一年間、総務委委員長として日々精進し、全力で職務を遂行していきたいと思っておりますので、今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



## 地域ふるさと委員会 委員長 同前 壮一



新年明けましておめでとうございます。  
2013年度地域ふるさと委員会 委員長を拝命しました同前 壮一(どうぜん そういち)と申します。

入会2年目で新理事という大役を頂き、大変身の引き締まる思いで一杯ですが、まずは2月16日開催の伝統事業『第42回少年はだか祭り』を現役会員の皆様、特別会員の皆様、地域の皆様、ご協賛企業様そして各団体の皆様のご協力を頂き、大成功で完了出来る様に全力で取り組みます。

また、『明るいはだか祭りを守る会への運営協力』『わっしょいカーニバルへの参加協力』『金牛神輿巡行への参加協力』等の事業の1つ1つを確実に成功させ、西大寺青年会議所の歴史と文化を継承していきます。

最後に、赤木理事長のもと掲げられた『初志貫徹』という志を胸に刻み、私自身としては委員長という立場だけではなく、青年会議所メンバーの一員としてあるべき姿、これから進むべき姿を考え、目的を持って活動に取り組みます。

1年間ご指導ご鞭撻の程どうぞ宜しくお願い致します。

## 地域の和委員会 委員長 岡崎 将明



2013年度まちづくり系の委員会で地域の和委員会と名付け委員長をさせて頂きます。和という字は平和の和という字であり、なごむとも読みますが、皆で一緒にという意味もあるそうです。そこで地域活性化のため西大寺・瀬戸内市周辺の諸団体と力を合わせ地域活性化に臨んでいきたいという意味合いを込めまして委員会名を決定いたしました。

事業といたしましては、新年祝賀会を最初に、吉井川流域との交流、地域活性化対策、被災地復興支援、会陽アト祭り、おかやま西大寺マラソン、ごふくまつりと多数の事業を任されております。決して好景気とは言えない現在、西大寺の活性化につながる事業や対策を議論する地域活性化対策会議も開催する予定にしております。そして、2年間行われなかった吉井川フェスタ(名称未定)も活性化のため必要と考え再び開催する予定です。

まだまだ未熟者ですので今年一年間多数のご迷惑をおかけするとは思いますが、西大寺・瀬戸内市地域周辺の発展を願い邁進してまいりますので、宜しくお願い致します。  
m(\_\_)m

## 会員創造委員会 委員長 藤原 辰徳



本年度、会員創造委員会の委員長を仰せつかりました藤原と申します。今年の豊富と致しまして、とにもかくにも『結果』が全ての1年にしたいと思っております。言い換えれば今年の豊富1丁目1番地は『新会員を増やす』これに尽きると考えます。その為に、1年間、自分が続けなくてはならない事は、赤木理事長の顔に泥を塗るような言動は慎む! 着いて来てくれる委員会メンバーに恥を欠かせない!...あまりにも当たり前な目標かもしれませんが、私にとっては、これが全て『結果』として残ると強く感じております。

まだまだ『弱い』自分の殻を少しでも破れる年となるよう修練させて頂けたらと思います。どうぞ1年間、ご指導ご鞭撻の程よろしく願い申し上げます。

## Regular meeting

# 一月例会

総務委員会 副委員長 中西 秀和

先般1月9日に本年度最初の例会である1月例会が開催されました。第53代赤木理事長の点鐘から始まり、新年メンバーの前で行われる初の理事長挨拶と緊張感ある中で1年がスタートされました。委員会アワーではメンバーに抱負を語っていただき、赤木理事長を支え、1年間がんばっていききたいという思いをメンバーに強く感じてもらうことができた例会になったと思います。ここで感じた思いを、本年のスローガンでもある初志貫徹のごとく貫き、1年をがんばっていききたいと思います。また本年度は新委員長が3名に、例会内で新入会員の入会式も行われるなど、新たなスタートを実感しました。会員が昨年のスタートより一人増え22名のスタートをきることができました。さらに新会員を増やし、より力強い組織を形成していければと思います。

本年度赤木理事長を支え、メンバー全員一丸となりがんばっていきますので、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。



## 監事講評にて教えて頂きました

『We become what we think about!』

人間は自分が考えているような人間になる!

### アール・ナイチンゲール博士はこんな人

アール・ナイチンゲール(Earl Nightingale / 1921年3月12日-1989年3月28日)は、アメリカ・ロサンゼルス出身の自己啓発作家・実業家。自己啓発分野のパイオニアとしても世界的にその名を知られている人物であり、放送業界や生命保険会社などで大成功を収めた実業家でもある。1956年に人生を成功に導く秘法を録音したレコード「ザ・ストレンジスト・シークレット」を発売し、同レコードはミリオンセラーを達成(ゴールドレコード賞を受賞)。自己開発オーディオ・プログラム会社「ナイチンゲール・コナント社」の創立者でもある。



## New Year's party

# 新年祝賀会

西大寺の和委員会 委員長 岡崎 将明

明けましておめでとうございます。平成25年の始まりをお祝いするため、1月11日(金)に西大寺グランドホテルにお於いて新年祝賀会を行いました。伊原木県知事をはじめ、58名という多数の方にご列席賜り誠にありがとうございました。

新年祝賀会では恒例となっております新理事長の新年のご挨拶では、第53代理事長を務められます、赤木朋央君よりスローガンに掲げられた「初志貫徹」に込められた熱い思いを、基本方針を基に発表していただきました。また、新役員・日本JIC等への出向者・新会員を紹介させていただき、本年度西大寺青年会議所への更なるご協力をお願いすることが出来たと思います。

本年度は2名の新会員を迎え22名でのスタートと、近年並みの少人数スタートとなっておりますが、地域のために精一杯精進してまいりますので一年間どうぞよろしくお願いいたします。

## 新しい仲間が加わりました! Matriculant

### 地域の輪委員会 委員 柴田 潤哉



初めまして平成25年1月1日より(一社)西大寺青年会議所に入会させていただきました柴田潤哉と申します。よろしくお願いいたします。

まだ入会させていただいて半月程度ということで正直なところJICの活動理念や活動内容といったことをあまり理解できておらず「JIC song」や「若い我等」といった歌も覚えていません。ですから抱負と言いましてもなかなか具体的なものにならないのですが、今年一年赤木理事長をはじめとする先輩方に御指導いただきながら何事にも全力でチャレンジし活動に取り組んでいきたいと思っております。また地域の和委員会 委員として会陽アト祭り・おかやま西大寺マラソン・ごぶくまつり等の事業に積極的に参加し中山福理事長や岡崎委員長、高木副委員長、他の委員の方々と力あわせて各事業がより良いものになり盛り上がるようがんばっていききたいと思います。

最後になりましたが縁ありまして(一社)西大寺青年会議所に入会させていただいたからには微力ながら地域社会・地域経済の成長の助けになるとともに私自身成長していけるように他の会員の皆様と力をあわせてがんばっていきこうと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

### 会員創造委員会 委員 井上 雅博

今年から新規入会した井上です。

今年度の抱負は、現在のJIC活動にできるかぎり参加し、メンバーの方々との交流を深め、ひとつずつ自分にできることをやっていこうと思っております。

これからの時代、田舎が新たな可能性を生み出し盛り上がっていくと思っております。それには地域同士の協力が必要不可欠なので、自分の地元だけでなく他の地域の方々との交流ができるJICを通し、地域貢献をしながら、様々な事を学んでいきたいと思っております。

まだまだ若輩者ですが、どうぞよろしくお願いいたします。

